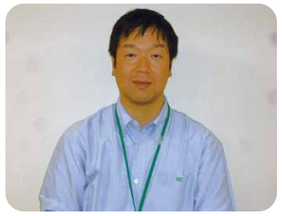
ボランティア活動の現場を訪ねて！

厚別区社会福祉協議会では区内にある高齢者、障がい者、児童等様々な分野の福祉施設からご依頼を受け、ボランティア活動を希望する方へのご紹介（コーディネイト）を行っています。はじめてボランティア活動を希望される方の中には「福祉施設が具体的にどんな所かわからなくて不安」という方や、「どんな人たちが実際に活動しているんだろう」と思われたりする方が多数いらっしゃいます。そんな疑問にお答えするため、厚別区内のボランティア受入施設と、そこでのボランティア活動の様子をご紹介いたします。

●● 介護付 有料老人ホーム みのり厚別 ●●

〒004-0003 厚別区厚別東３条７丁目 21 番１号 TEL：011-897-1294

ボランティア担当者の竹内施設長にお話をお伺いしました



竹内施設長

みのり厚別では、ボランティアを希望される方に、まず初めは見学や体験に来ていただき自分の目で施設の雰囲気を見ていただいています。施設側からこれをしてほしいという要望ではなく、ボランティアさんが出来る事をしていただいています。

今継続で来てくださっているボランティアさんはお２人ですが、その他にも毎月音楽ボランティアさんや小・中・高校の吹奏楽部の皆さんにマンドリン演奏や吹奏楽など披露していただいています。

ボランティアさんに来ていただくことで、利用者の方のお話し相手が増え和やかな雰囲気を作ることができ、利用者の方の表情も明るくなっているのが感じ取れます。

ボランティア受入の工夫としては、利用者の方と昼食を一緒に食べていただき、交流する時間を設けています。

今後も利用者の方に寄り添ってくださるボランティアさんを募集しています。まずは単発の活動でも構いません。ぜひ遊びに来てください！

ボランティア活動者の蓑島さん、中村さんにお話をお伺いしました

中村さんに聞きました

Q. ボランティアを始めたきっかけはなんですか？

A. 仕事を退職したらボランティア活動をしようと思っていました。そろそろ活動を始めようかな…と思っていた時に、ラジオを聞きそこで高齢化社会の現状や男性のボランティアが少ないこと、傾聴や寄り添いだけでも力になれるということを知り、社会福祉協議会に相談しました。

ボランティアの中村さん（左）、蓑島さん（右）

蓑島さんに聞きました

Q. ボランティアを続ける原動力はなんですか？

A. 資格もないし、手芸なども人に教えるほどではないですが、何も出来ないながら、何度も足を運ぶことで顔を覚えてもらい、利用者の方から声をかけてもらえるようになりました。最初の３か月ぐらいは戸惑いながら活動を続けていましたが竹内施設長にも相談にのっていただき、楽しくボランティア活動を続けています。

お2人から…

もっと利用者さんの身近に、寄り添いのボランティアが増えてくれたらいいなと思っています！

▲風船バレーのお手伝い①

▲風船バレーのお手伝い②

平成27年度ボランティア交流会を行いました!

厚別区社会福祉協議会では今年度から個人・団体ボランティアとボランティア受入施設との交流会を行っております。12月18日に厚別区民センターで開催した第１回目となる交流会では、個人や団体、施設の実践発表やボランティア側、施設側それぞれの立場から「これからのボランティア活動」についての意見交換などを行いました。

「ありがとう」の感謝の言葉がボランティアの皆さんの原動力になっていることや、ボランティアさんに来てもらえると利用者の方にも良い刺激になるなどの意見を聞くことができました。様々な年代のボランティアと施設職員の交流を通して今後もよりよいボランティア活動をするうえでの参考になったという意見もいただきました。

▲実践発表の様子

▲グループワークの様子